



急に高熱を出した、喉を痛がり食べられなくなった…など子どもに多く流行する「夏風邪」は、子育て中の家庭にとってかなりやっかいな感染症だ。まれに重症化したり、大人に感染したりすることもあり、原因や対処法、注意すべき症状について専門医に聞いた。

## 子どもの夏風邪

夏に子どもが急に高熱を出すと親はとて不安になりますよね。いわゆる「夏風邪」は多くがウイルス感染で、よく聞くヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱(プール熱)などです。

ウイルスは複数あり、エンテロウイルスの仲間が代表的

疱疹<sup>ヘルペス</sup>が出て痛かったり食欲が落ちたりします。プール熱は主にアデノウイルスが原因で、高熱と喉の腫れに加え、目の充血(結膜炎)を伴うことがあり、プールを介して流行することがあるため注意が必要です。

ウイルスに抗生物質は効か

さい。手洗いを徹底し、家庭内や園内での感染拡大を防ぎましょう。私も大人になって手足口病にかかりましたが、想像以上にしんどかったです。ただし、次のサインがあるときは迷わず受診してください。ぐったりして反応が鈍い

ら、早めにかかりつけ医を受診してください。症状の始まり方や発疹の場所、熱の経過を簡単にメモしておく役立ちます。

(兵庫県医師会、岡藤郁夫氏  
神戸市立医療センター中央市民病院小児科・新生児科部長代行)

◇第1、3、4日曜に掲載  
します。

## 多くがウイルス性、脱水に注意

です。ヘルパンギーナはコクサッキーウイルスやエンテロウイルスが関係し、喉の奥に小さな水泡や潰瘍ができて急な高熱と喉の強い痛みを起こします。手足口病もエンテロウイルス(コクサッキーA群、エンテロウイルス71など)が多く、口の中と手足に赤い水

ないので治療は対症療法が中心です。発熱や痛みには年齢に合った解熱鎮痛剤を使い、喉や口内の痛みには冷たい飲み物やゼリー、年長児ならうがいやケアしてください。脱水を防ぐために少量ずつこまめに水分を与え、固い食べ物は無理に食べさせないでくだ

▽ミルクや水分が全くとれない・おしっこが極端に少ない(脱水の疑い)▽39度近い高熱が続く、けいれんを起こした▽息が苦しそう▽嘔吐が止まらない▽血便や激しい腹痛がある▽症状が急に悪化したと感するときです。

普段と様子が違つと感じた